

1 基本項目	事務事業名	図書館資料収集保存提供事業			担当部署	課名	図書館		
	予算事業名	資料収集保存事業				係名	図書係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-22-0462			
	事業期間	開始年度	平成10年度	終了年度	当面継続		予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち				算科目目	款	教育費
		政策名	10 明日を担う人づくり					項	社会教育費
		施策名	31 生涯学習の推進					目	図書館費
基本事業名		31-1 学び続ける環境づくり				アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令	図書館法第3条第1項第1号～第4号			総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、図書、雑誌、新聞、参考図書、視聴覚資料、郷土資料など資料を選び、収集、保存、管理し市民や利用者に提供する。	
	対象	市民及び図書館利用者	
	手段 (活動指標)	新刊の図書・雑誌・郷土資料等を購入するとともに、リサイクル資料の積極的な受入や相互貸借等により、より多くの資料を提供する。	
	意図 (成果指標)	市民の図書館の利用及び本への親しみが增加する。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 市民	人	44,728	44,036	44,490	43,555	97.9%	44,178
	② 図書館利用登録者数	人	22,000	22,987	23,500	24,258	103.2%	25,000
	③ 蔵書数	冊	245,000	244,885	250,000	252,522	101.0%	255,000
	① 入館者数	人	260,000	227,959	245,000	217,549	88.8%	225,000
	② 貸出冊数(個人)	人	350,000	321,780	340,000	310,767	91.4%	325,000
	③ 貸出者数(個人)	人	79,000	71,539	77,000	72,515	94.2%	75,000

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	1,442,000	1,402,885	1,483,000	1,360,797	-3.0%	1,588,000
	② 委託料	円	990,000	857,196	1,019,000	784,637	-8.5%	946,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	12,449,000	12,448,964	12,191,000	12,190,299	-2.1%	11,941,000
	支出合計(A)	円	14,881,000	14,709,045	14,693,000	14,335,733	-2.5%	14,475,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	630,000	626,565	280,000	260,502	-58.4%	20,000
	⑤ 一般財源	円	14,251,000	14,082,480	14,413,000	14,075,231	-0.1%	14,455,000
	収入合計	円	14,881,000	14,709,045	14,693,000	14,335,733	-2.5%	14,475,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	② 年間所要時間	時間	3,800	3,800	3,800	3,200	-15.8%	3,600
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	15,960,000	15,960,000	15,960,000	13,440,000	-15.8%	15,120,000
総費用(A+B)	円	30,841,000	30,669,045	30,653,000	27,775,733	-9.4%	29,595,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、郷土資料などの収集、保存、管理を行い、市民や利用者に提供した。また、資料の照会や本の相談(レファレンス)に対応するとともに、他館との資料の相互貸借を行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	図書館法で明記
目的の妥当性				1 妥当である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため	
対象の妥当性				1 妥当である	図書館を利用する人を対象としているため	
有効性	A	B	目標達成度	2 目標どおり	成果値が目標通り	
			類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じ事業はない	
			上位施策への貢献度	2 普通	貢献度は高くも低くなかったため	
効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最低限のコストで運用しているため	
			実施主体の適正化	1 適正である	民間委託等になじまないため	
			負担割合の適正化	1 適正である	市の財産であるため	
1次評価 (課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
後の方針 (評価結果及び今後)	<p>開館日数が15日増加したにもかかわらず、図書館の利用者減に伴い、貸出冊数も減少している。郷土資料の充実と魚津市立図書館の特徴的を生かした資料の収集を行いたい。</p>				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	図書館教養・普及事業			担当部署	課名	図書館	
	予算事業名	教養・普及事業				係名	図書係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-22-0462		
	事業期間	開始年度	平成17年度	終了年度	当面維持	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			算科目	款	教育費
		政策名	10 明日を担う人づくり				項	社会教育費
		施策名	31 生涯学習の推進				目	図書館費
基本事業名		31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令	図書館法第3条第1項第6号			総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	図書館教室（古文書解説会・読書会など）や歴史講座・お話し会・お楽しみ会・シネマ倶楽部などの開催					
	対象	市民及びその事業に興味を持って参加される市民以外の方					
	手段（活動指標）	図書館映画上映事業、歴史講座、おはなし会、子ども向けお楽しみ会、おはなし玉手箱、図書館教室（古文書解説会、草かなで読む読書会、魚津読書会、時事英語を読む会、川柳教室）、おりがみ教室、図書館コンサート、魚津高校放送部発表会（ライブ・イン・ライブラリー）					
	意図（成果指標）	図書館の資料や設備を利用して、多くの市民が生涯学習の意欲や楽しみを持つことができる。					

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 図書館教室開講数	件	65	65	65
成果指標	② おはなし会開催数	件	60	60	60	62	103.3%	60
	③ 各種集会回数	件	40	38	40	42	105.0%	40
	① 図書館教室参加人数	人	750	800	750	786	104.8%	750
	② おはなし会参加人数	人	1,500	1,095	1,500	1,037	69.1%	1,500
	③ 各種集会参加人数	人	1,400	1,304	1,400	1,437	102.6%	1,500

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	① 需用費	円	101,000	100,451	205,000
② 委託料	円							
③ 工事請負費	円							
④ 負担金補助及び交付金	円	1,000		1,000	1,000	1,000	0.0%	1,000
⑤ その他	円	64,000		42,254	64,000	36,154	-14.4%	67,000
支出合計（A）		円	166,000	143,705	270,000	240,478	67.3%	215,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円	30,000	72,300	30,000	40,300	-44.3%	30,000
	⑤ 一般財源	円	136,000	71,405	240,000	200,178	180.3%	185,000
収入合計		円	166,000	143,705	270,000	240,478	67.3%	215,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	② 年間所要時間	時間	2,500	2,500	2,500	3,000	20.0%	2,800
	③ 人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	10,500,000	10,500,000	10,500,000	12,600,000	20.0%	11,760,000
総費用（A+B）		円	10,666,000	10,643,705	10,770,000	12,840,478	20.6%	11,975,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容					
	図書館教室（古文書解説会・読書会など）や歴史講座、お話し会、おりがみ教室、お楽しみ会、シネマ倶楽部などを開催した。					

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	図書館法で明記
目的の妥当性					1 妥当である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため	
対象の妥当性					1 妥当である	図書館を利用する人を対象としているため	
有効性	有効性	A	B	目標達成度	2 目標どおり	成果値が目標通り	
				類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じ事業はない	
				上位施策への貢献度	2 普通	貢献度は高くも低くなかったため	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最低限のコストで運用しているため	
				実施主体の適正化	1 適正である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため	
				負担割合の適正化	1 適正である	事業によっては教材費を徴収しているため	
1次評価（課長総括）		A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
後の方針（評価結果及び今）		蔵書を生かしたイベントを行うことで、書籍の貸し出しを増やしていきたい。			評価結果		